

# 議題 1

平成 27 年 7 月 8 日  
学 事 課

## 卒園証書・卒業証書について（報告）

### 1 趣旨

平和記念公園の「原爆の子の像」には、国内外から年間およそ 1,000 万羽の折り鶴が捧げられ、本市では、この折り鶴に託された平和への思いを共有し昇華させるため、折り鶴再生紙の活用に取り組んでいる。また、市立学校においては、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度をはぐくむため、「平和教育プログラム」の推進など発達段階に応じた体系的な平和教育に取り組んでいる。

こうした中、平成 26 年度、市立広島商業高校では、ピース・デパートなど平和学習に意欲的に取り組み卒業を迎える生徒の提案を受け、同年度の卒業生に対し、折り鶴を再生した卒業証書を授与した。

本市で育った園児児童生徒が、卒園・卒業の節目に、平和と希望の象徴であるヒロシマに捧げられた折り鶴を再生した卒園証書・卒業証書を手にすることにより、改めて、世界の人々の平和への思いや願いを共有し、そして継承していくとともに、郷土広島への愛着や誇りを一層強くすることが期待できるものとする。

そこで、被爆 70 周年である今年度から、市立広島商業高校の取組を全園・全校に拡げ、市立の全ての幼稚園（19 園）、小学校（141 校）、中学校（64 校）、高等学校（8 校）及び特別支援学校（1 校）において、「原爆の子の像」に捧げられた折り鶴を再生した卒園証書・卒業証書を授与することとする。

### 2 折り鶴を再生した卒園・卒業証書の意義を深める取組

- (1) 折り鶴を再生した卒園・卒業証書の意義を深めるため、例えば、プレス加工により、本市が公募し決定した「折り鶴ロゴマーク」（別紙）や校章を浮き出させることなどを検討する。
- (2) また、各園・学校の創意により、例えば卒業式式辞で折り鶴を再生した卒園・卒業証書の意義を園児児童生徒等に伝えるなどの取組を行う。

### 【参考】

平成 27 年度市立学校卒園・卒業予定者数（平成 27 年 5 月 1 日現在の最終学年在籍者数）

幼稚園	660 名	
小学校（特別支援学校小学部を含む。）	10,939 名	
中学校（特別支援学校中学部を含む。）	9,683 名	
高等学校（特別支援学校高等部を含む。）	1,983 名	計 23,265 名

## 「折り鶴ロゴマーク」について

(以下、広島市ホームページから引用)



## 【制作の経緯】

平和記念公園の「原爆の子の像」には、国内外から年間約 1,000 万羽、重さにして 10 トン以上の折り鶴が捧げられており、広島市では、この世界中の人々から託された平和への思いを多くの方々と共有し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う輪を広げていくため、折り鶴に託された思いを昇華させるための取組を推進しています。

この「昇華の取組」を広く発信するため、ロゴマークを公募し、国内外から応募のあった 438 点の中から、選考委員会で最優秀賞作品を決定し、ロゴマークの図案として採用しました。

ロゴマークは、「昇華の取組」の成果物や広報媒体等に積極的に使用し、広島発のブランドとして国内外に広く発信するとともに、ロゴマークを使用する取組の付随価値を高めます。

## 【デザインコンセプト】

原爆の子の像に捧げられるたくさんの折り鶴と、そこに込められた多くの人々の思いと祈り、夢や願いをカラフルな一羽の折り鶴で象徴し、物質としての折り鶴と様々な思いが細かく分散して広がり、昇華されていくイメージを表現しています。

また、アルファベットの「HIROSHIMA」を組み合わせることで、核兵器廃絶と世界恒久平和への願いをグローバルな意識として共有・発信していく意図が込められています。